

# 九州南部・奄美地方の3か月予報解説資料 (1月から3月までの天候見通し)

平成23年12月22日  
鹿児島地方气象台発表

## 1. 予想される向こう3か月の天候

- 1月 平年と同様に、九州南部では晴れの日が多く、奄美地方では曇りや雨の日が多いでしょう。
- 2月 平年と同様に、九州南部では晴れの日が多く、奄美地方では曇りや雨の日が多いでしょう。
- 3月 天気は数日の周期で変わるでしょう。奄美地方では平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

表1 九州南部・奄美地方の代表地点における平年の天気出現日数

鹿児島	1月	2月	3月	宮崎	1月	2月	3月	名瀬	1月	2月	3月
晴れ日数	15.2	15.0	15.1	晴れ日数	21.6	18.3	17.2	晴れ日数	5.2	5.0	7.2
降水日数	8.9	8.8	12.9	降水日数	5.7	6.9	10.9	降水日数	16.0	14.1	15.8

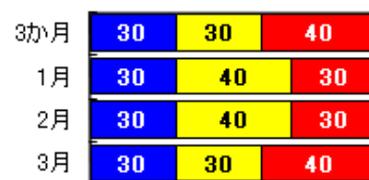
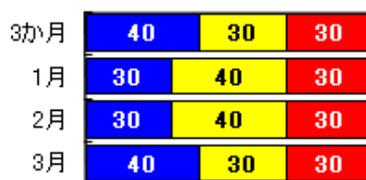
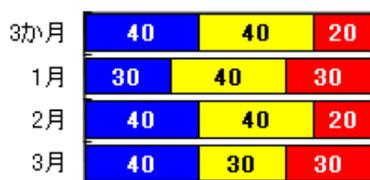
## 2. 向こう3か月の気温、降水量等の各階級の確率 (%)

<九州南部>

気温

降水量

日照時間

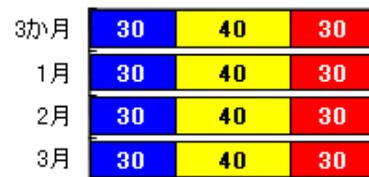
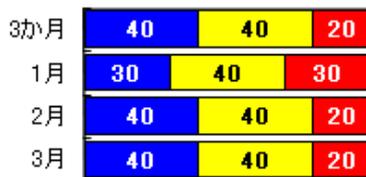
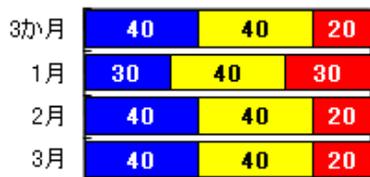


<奄美地方>

気温

降水量

日照時間



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## 3. 数値予報資料

向こう3か月平均の500hPaの高度の予想図(図1)では、北海道を除く日本付近では平年より高度が低く、寒気の影響を受けやすい見込みです。向こう3か月平均の850hPaの気温の予想図(図2)では、北日本では平年より高くなる見込みですが、九州南部・奄美地方では平年より低く予想されています。

向こう3か月平均の海面気圧の予想図(図3)では、アリューシャン低気圧が平年より弱いですが、本州の東海上を中心に平年より低く、西日本では平年より冬型の気圧配置が強い見込みです。

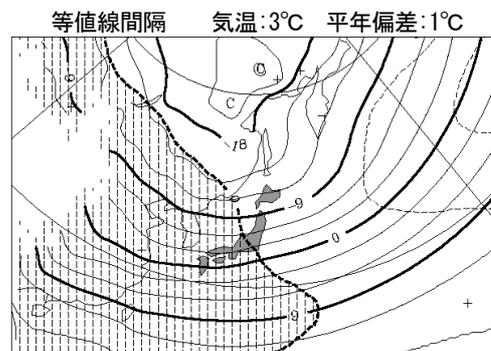


図2 850hPaの気温と平年偏差(1月~3月平均)  
(陰影は平年より気温が低い領域を示す)

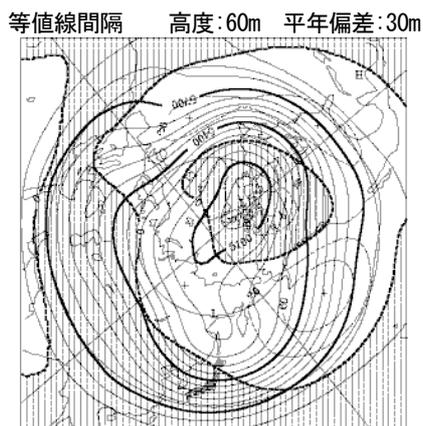


図1 500hPaの高度と平年偏差(1月~3月平均)  
(陰影は平年より高度が低い領域を示す)

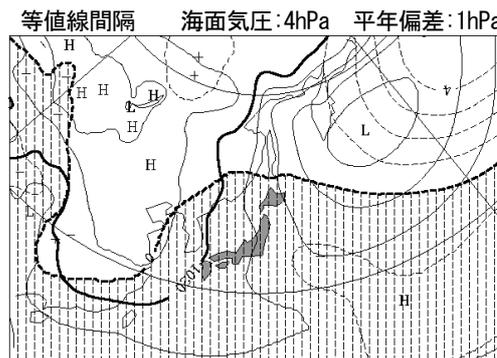


図3 海面気圧と平年偏差(1月~3月平均)  
(陰影は平年より気圧が低い領域を示す)

#### 4. 最近の実況（12月1日～20日）

上旬は気圧の谷や低気圧および前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。期間の終わりは冬型の気圧配置となり、寒気の影響で九州南部の東シナ海側と奄美地方では曇りや雨、太平洋側では晴れとなりました。中旬は、九州南部は、冬型の気圧配置による寒気の影響を受ける日が多く、東シナ海側では雲が広がりやすく、太平洋側では晴れた日が多くなりました。奄美地方は、気圧の谷や寒気の影響で曇りの日が続きました。

気温は、平年並程度で、地域平均平年差は九州南部では $-0.1^{\circ}\text{C}$ 、奄美地方では $+0.2^{\circ}\text{C}$ となりました。降水量は、九州南部では平年を上回った地点が多く、奄美地方では平年を大きく下回りました。地域平均平年比は九州南部では $107\%$ 、奄美地方では $64\%$ となりました。日照時間は、九州南部の東シナ海側と奄美地方で平年を下回り、九州南部の太平洋側を中心に平年を上回りました。地域平均平年比は九州南部では $99\%$ 、奄美地方では $51\%$ となりました。

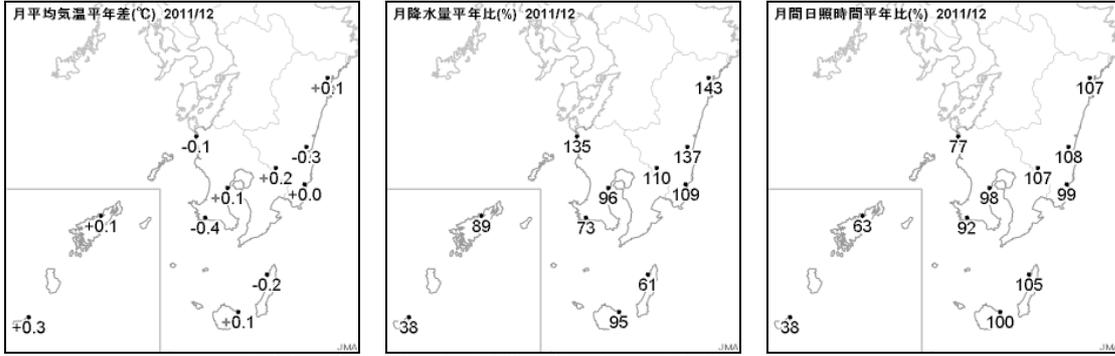


図4 九州南部・奄美地方における各気象要素の平年偏差（12.1～12.20）

#### 5. 大気と海洋の状況

12月の500hPaの高度と平年偏差(図5)では、北日本は平年より高度が低いですが九州南部・奄美地方は平年並程度となっています。

11月のエルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差は $-1.1^{\circ}\text{C}$ でした(図6)。9月の5か月移動平均値(7月から11月までの平均値)は $-0.6^{\circ}\text{C}$ でした。エルニーニョ予測モデル(図7)は、監視海域の海面水温が、今後春にかけて基準値より低い値から基準値に近い値へ推移すると予測しています。以上のことから、ラニーニャ現象は冬から春の間に終息する可能性が高い見込みです。詳しくはエルニーニョ監視速報231号(12月9日発表)をご覧ください。

等値線間隔 高度：60m 平年偏差：30m

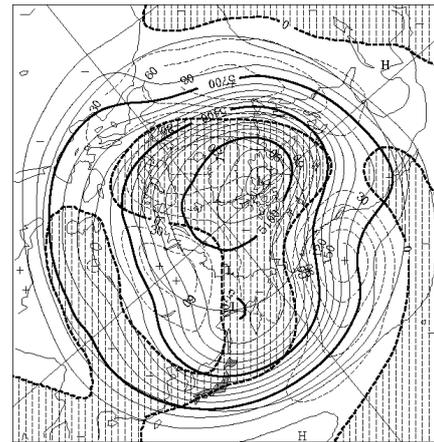


図5 500hPaの高度と平年偏差 12月  
(予報値を含み、陰影は平年より低い領域を示す)

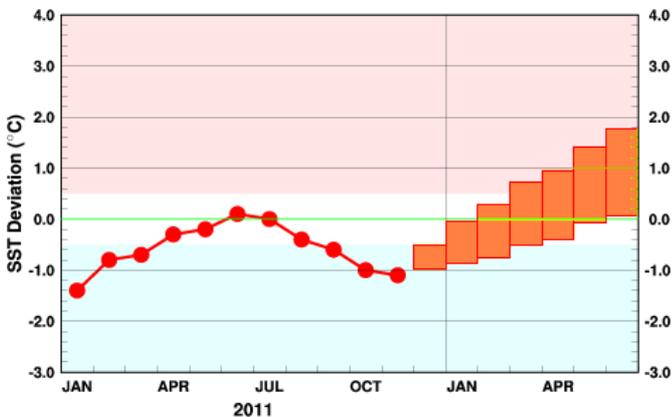


図6 エルニーニョ監視海域の月平均海面水温の基準値との差の11月までの経過と今後の予測

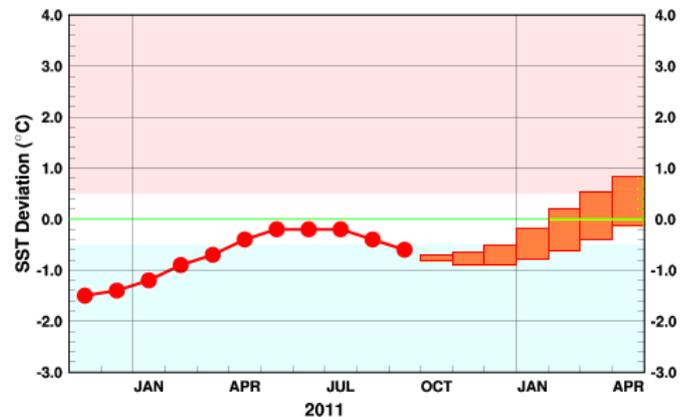


図7 エルニーニョ予測モデルによるエルニーニョ監視海域の海面水温予想（5か月移動平均）

※ 注

- ・ 季節予報では「日照率40%以上の日数」を晴れ日数、「降水量1mm以上の日数」を降水日数と定義しています。この2つの事象は同じ日に起こり得るため、両方に数えられる日もあります。
- ・ 九州南部・奄美地方を九州南部（宮崎県、薩摩地方、大隅地方、種子島・屋久島地方）と奄美地方とに分けて表現しています。特に表現しない場合は全域を指します。